



DSK

株式会社 **電算システム**

株 主 の 皆 さ ま へ

第54期 中間報告書

第2四半期連結累計期間

2020年1月1日～2020年6月30日

明智光秀公ブロンズ像
(岐阜県可児市・明智城本丸跡)

東証第一部／名証第一部 3630

Challenge Innovation Speed



Contents

- 02 株主の皆さまへ／配当について
- 03 **特集** 世界最先端のセキュリティ技術に強い
信頼の電算システムへ
- 05 2020年12月期
第2四半期（累計）の業績について
経営指標の推移／事業別の業績
- 08 シリーズ・お客さまとともに
Vol.17
- 09 DSK TOPICS
- 10 会社概要及び株式情報
- 裏表紙 DSKラウンジ

表紙について

明智光秀公ブロンズ像

岐阜県可児市・明智城本丸跡



2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公、戦国武将・明智光秀の生誕地とされる岐阜県可児市の明智城本丸跡に光秀像が建立されました。鎧に陣羽織をまとい右手を前に出し、左手に鉄砲を携えた光秀像は、高さ2.3メートル、台座は2メートル。可児市北東部と可児郡御嵩町西部の一带はかつて「明智荘（あけちのしょう）」と呼ばれ、光秀が明智城落城までの約30年間で過ごした地とされています。人々が穏やかに暮らせる、争いの

ない時代を願って立ち上がった光秀が、2020年、命日である6月13日に438年の時を経て故郷に甦りました。

彫刻：日本藝術院会員 神戸 峰男氏（可児市在住）

題字：臨済宗相国寺第132世 有馬 頼底氏

さらなる成長を目指してサービス拡大を図り、 経営計画の達成に取り組んでまいります。

た な か や す の り
代表取締役社長執行役員COO（最高執行責任者）**田中 靖哲**



株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申しあげます。

当第2四半期（累計）の連結決算の概要についてご報告させていただきます。当第2四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルスの拡大により経済活動が抑制され、先行き不透明な状況が続いております。このような中、当社グループにおきましては、社員および取引先の皆様の健康と安全を最優先事項と考え、時差出勤、在宅勤務等の対応策を実施して感染拡大防止に努めてまいりました。事業の状況としましては、一部のビジネスにおいて業績を抑える影響がありましたものの、IT推進の新たな需要も捉え総じて好調に推移し、売上高は218億71百万円、営業利益は16億83百万円、経常利益は17億65百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億64百万円となり、当初予想を大きく上回る結果となりました。

セグメント別の業績について、情報サービス事業では、イベントの開催自粛・延期の影響から各種ギフト処理サービスなどの売上が減少したものの、SI・ソフト開発及び商

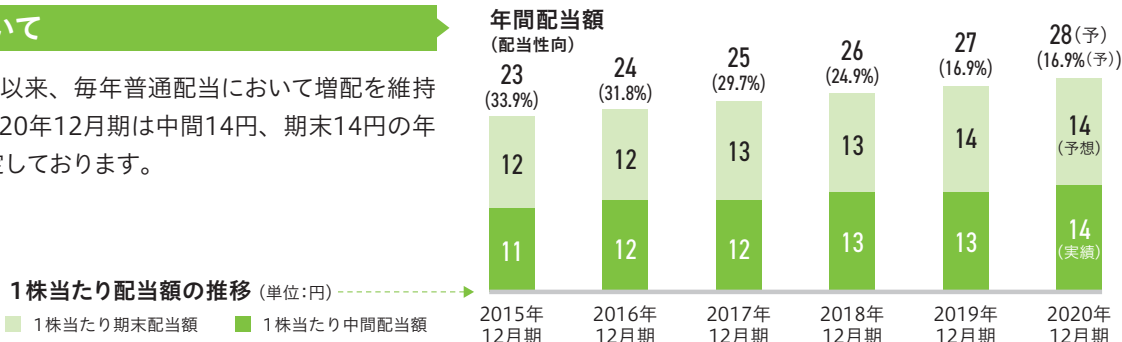
品販売においては、オートオークション業務システム、教育関連システム、デジタルサイネージ、また、リモートワーク需要の高まりなどによりChromebookやG Suiteなどの案件が大きく伸長しました。利益面では増収効果に加え、各種業務の効率化により増益となりました。

収納代行サービス事業では、チケット系の前売り決済に使用されるペーパーレス決済サービス、スポーツクラブ等の会員制事業の代金回収に使用される口座振替サービスは、休止等の影響を受け苦戦した一方、主力の払込票決済サービスが昨年来の新規獲得先が稼働を開始したことにより順調に回復。また、国際送金部門が上期を通して黒字に転化いたしました。全体として、事業成長の支えとなる新規先の獲得状況は、計画通り進展しております。

通期の見通しについては、本年7月31日付で㈱ピーエスアイの持株会社であるACAS2㈱を子会社化したことに伴う同社業績の当社連結決算への算入および上期での受注状況などを鑑み、通期業績予想を上方修正いたしました。下期も好調な業績を継続すべく、グループ一丸となって邁進いたします。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

配当について

当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、2020年12月期は中間14円、期末14円の年間28円を予定しております。



世界最先端のセキュリティ技術に強い

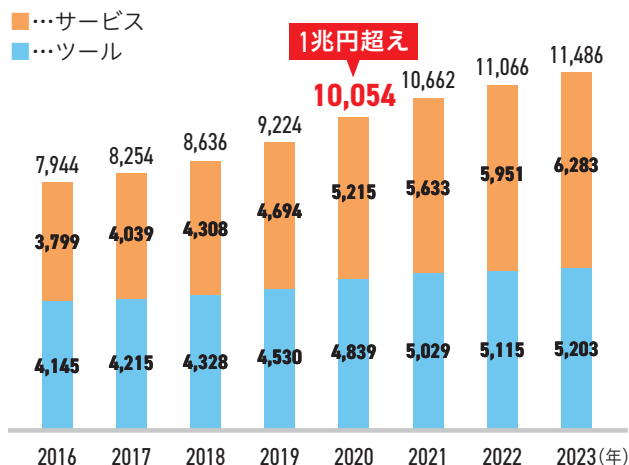
▶ セキュリティ事業への本格参入のためにM&A（株式会社ピーエスアイ）を実行

当社グループは、情報サービス事業と収納代行サービス事業という2つの事業を柱に事業を展開しています。さらに現在は、東濃インターネットデータセンターを中心にしたクラウドサービス事業をさらに拡大すべく積極的に取り組んでいますが、インターネット、モバイル、IoT等の普及に伴い、国内外において、情報セキュリティを堅牢に守るニーズが一層高まっております。

この要望に対応すべく、当社がこれまで培った情報セキュリティ技術を一段と高度化させるため、「情報セキュリティ事業」を強化してまいります。その第一歩として、アメリカやイスラエルなど世界最先端の情報セキュリティ関連製品の輸入販売と保守サポートに実績のある株式会社ピーエスアイをM&Aにより取得、グループ会社といたしました。

日本のサイバーセキュリティ市場

法人向け情報セキュリティ市場予測（億円）



（出所：開野村総合研究所「これからICT・メディア市場で何が起ころのか」ITナビゲーター2018年版（2017年11月）より）

▶ 株式会社ピーエスアイについて

株式会社ピーエスアイは、1994年創業以来、情報セキュリティ製品の輸入販売と技術サポート事業を展開し、世界的に有名なセキュリティベンダーの一次代理店販売権を有するなど、当該分野における十分な信頼のある企業です。

特に、昨今急増している悪質なウイルスやハッカーによるシステムへの侵害を防ぐために、アメリカなどの次世代ファイアウォールやUTM（統合脅威管理）製品、さらにはAIを駆使した最先端のサイバーセキュリティシステム等を日本の顧客に最適な形で販売しています。

信頼の電算システムへ

取締役副社長・執行役員
ICTイノベーション事業本部長

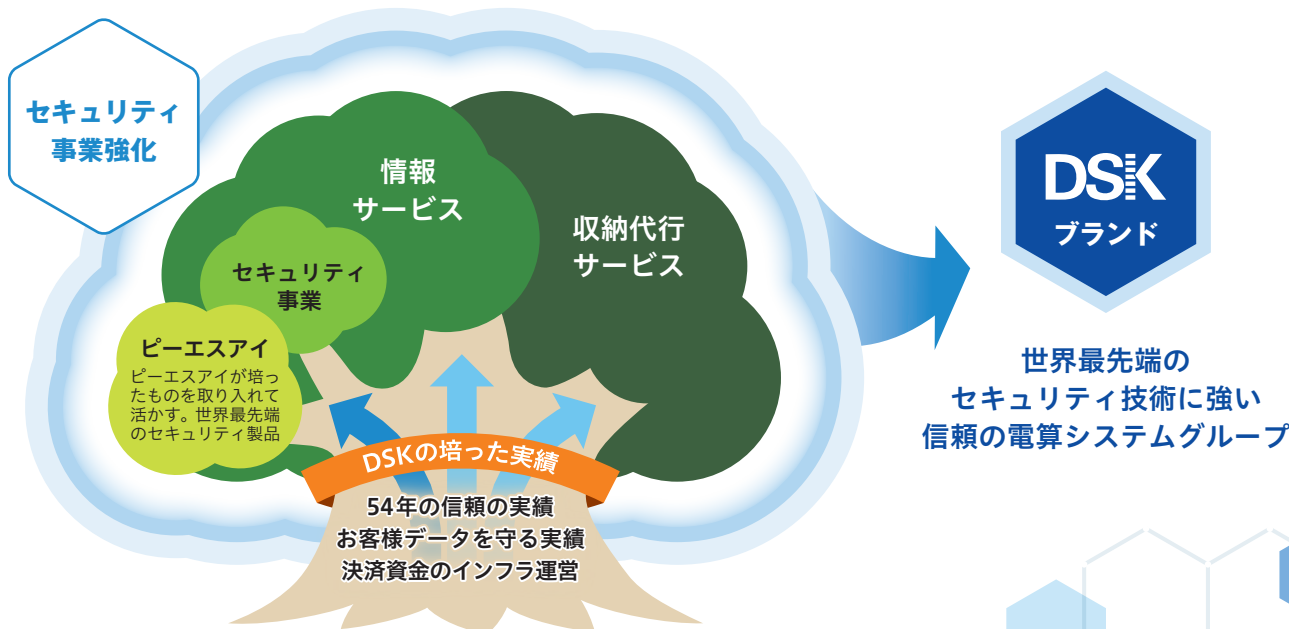
高橋 譲太



▶ シナジー効果による事業規模の拡大を目指します

今般のM&Aでは、当社グループの経営資源とピーエスアイの実績との融合による大きなシナジー効果が期待できます。具体的には、当社グループの情報セキュリティ分野の技術力がより一層強化され、同時に世界最高水準のセキュリティ製品の取り扱いが可能になります。より高度なソリューションの提供ができる体制を構築し、情報セキュリティ事業を拡大、発展させてまいります。

その拠点として、このたび、東京本社に新たに「セキュリティ事業部」を設置いたします。ピーエスアイの技術と実績を最大限に活かしつつ、「世界最先端セキュリティ技術に強い信頼の電算システム」として、セキュリティサービスの強化を図るとともに、当社グループの事業拡大を目指します。



2020年12月期 第2四半期（累計）の業績について

当社グループの2020年12月期（第54期）第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）における業績・財務概況及び通期の業績予想についてご報告いたします。

2020年12月期 第2四半期（累計）業績のポイント

Point 1

増収・増益で推移いたしました。

前年同期比では10.0%の増収、営業利益は36.7%、経常利益は38.2%、純利益は24.4%と、前年同期を上回る増益となりました。

Point 2

売上高、利益ともに計画を上回りました。

期初計画比では、売上はほぼ計画通りに推移。利益面では、各段階利益において計画を大きく上回りました。

※単位：百万円、単位未満切り捨て

四半期連結損益計算書（要約）※

	前第2四半期 2019年1月 1日から 2019年6月30日まで	当第2四半期 2020年1月 1日から 2020年6月30日まで
売上高	19,874	21,871
売上総利益	3,456	3,987
営業利益	1,231	1,683
経常利益	1,277	1,765
親会社株主に帰属する 四半期純利益	856	1,064

四半期連結貸借対照表（要約）※

	前期末 2019年12月31日現在	当第2四半期 2020年6月30日現在
資産合計	37,024	44,799
流動資産	31,043	38,858
固定資産	5,980	5,940
負債合計	26,150	32,915
流動負債	24,435	31,363
固定負債	1,715	1,552
純資産合計	10,873	11,883

2020年12月期 通期業績見通し

通期業績予想につきましては、当第2四半期までの進捗を踏まえ、売上高は期初計画に対し22億円増の462億円、営業利益は1億15百万円増の25億円、経常利益は1億60百万円増の25億90百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16億4百万円に上方修正いたしました。

新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響について

下期においては、営業活動への支障、顧客業績の縮小、遅延等の影響が現れる可能性があります。一方、オンライン化が加速される分野での需要増も期待されます。

情報サービス事業

情報処理では、買い控えや販促イベント減少の影響が継続。SI・ソフト開発及び商品販売では、スケジュール遅延、規模縮小、営業活動自粛により新規獲得数の減少が続くものの、感染症関連の公共系案件の受注増も期待されます。また、在宅勤務拡大やGIGAスクール構想などにより、Chromebook等端末需要の伸長が見込まれます。

収納代行サービス事業

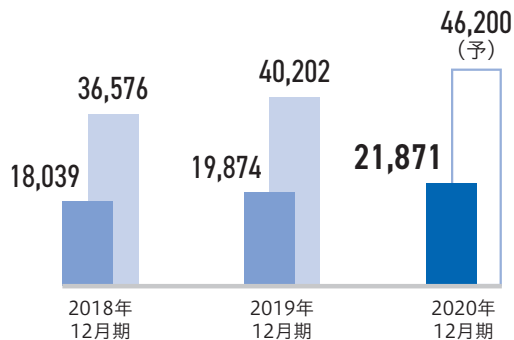
チケット系の決済に使われるペーパーレス決済サービスやスポーツクラブ等の会費制事業の代金回収に使われる口座振替サービスは、停止や自粛の影響が継続。対面営業自粛により導入までの期間の長期化が懸念されるものの、主力の払込票決済サービスで新規大口先が稼働を開始。また「DSK後払い」がスタートするなど期待が高まっています。

経営指標の推移

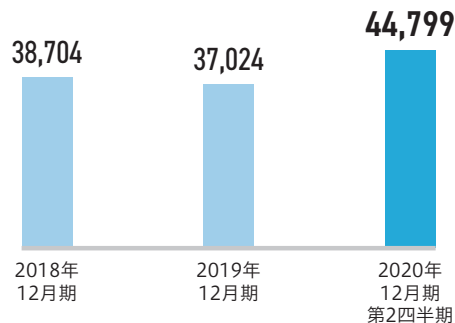
単位：百万円、単位未満切り捨て

売上高

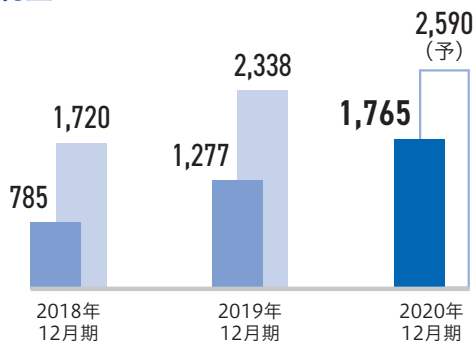
■…第2四半期 □…通期



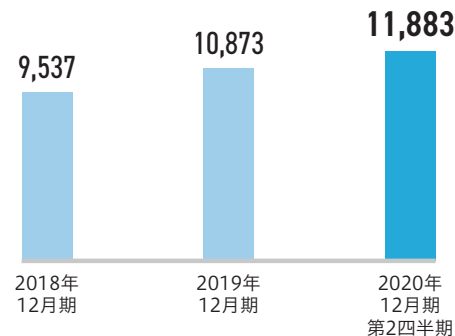
総資産



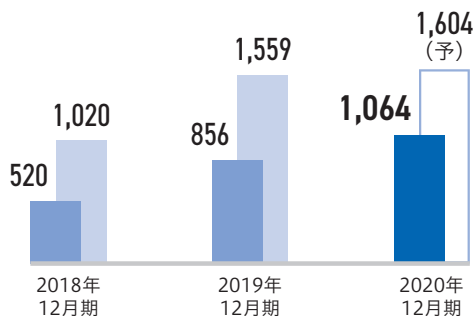
経常利益



純資産



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



事業別の業績

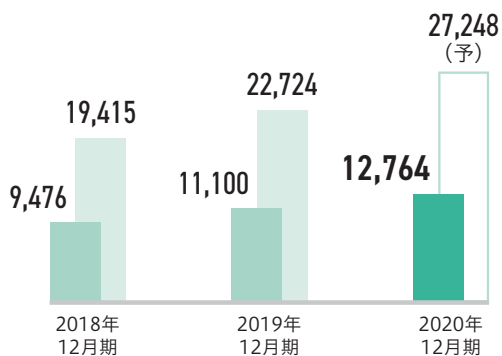
単位：百万円、単位未満切り捨て

情報サービス事業

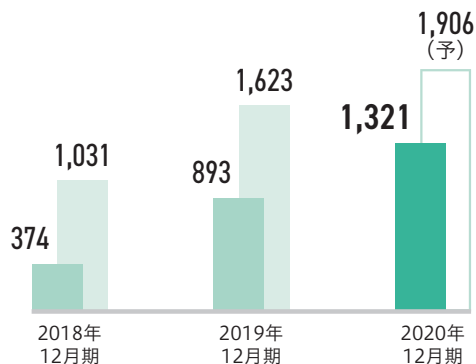
売上高は、前年同期比15.0%増収で127億64百万円、
営業利益は、前年同期比48.0%増益の13億21百万円
となりました。

■…第2四半期 □…通期

売上高



営業利益

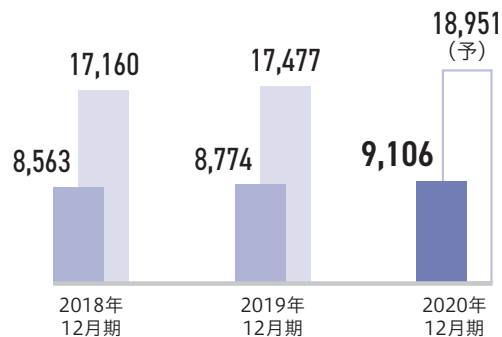


収納代行サービス事業

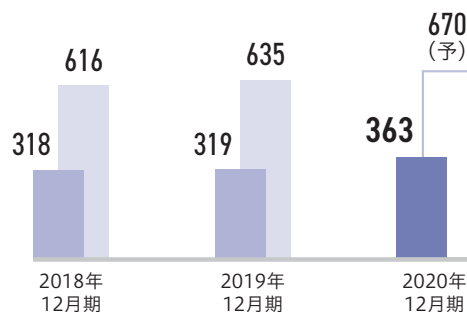
売上高は、前年同期比3.8%増収で91億6百万円、営
業利益は、前年同期比13.7%増益の3億63百万円と
なりました。

■…第2四半期 □…通期

売上高



営業利益



学びの環境支えるDSKの映像配信サービス



▲ 放送大学学園・本部（千葉市美浜区）

放送大学学園について

放送大学学園様（以下、放送大学様）は日本全国を放送対象地域としたテレビジョン放送とラジオ放送や、ICTを活用したオンライン授業、放送授業のインターネット配信により授業を行う通信制大学・大学院です。これまでに160万人を超える方々が学び、在籍学生様は約9万人にのぼります。生涯学習の中核としてどなたにも広く門戸が開放され、幅広い年齢、さまざまな職業の方が在籍し学んでいます。放送授業のインターネット配信は2007年より開始され、在籍学生様に広く活用されております。

在籍学生様が自由に使える学習センターとサテライトスペースが、全都道府県の57カ所に設置されており、ここでも放送授業のインターネット視聴ができます。

当社が提供したクラウドサービス

当社と放送大学様とのお付き合いは、2017年4月、放送授業のインターネット配信に当社の「DSK映像配信サービス」をご採用いただいたのがきっかけです。それまで放送大学様の学内から授業の動画を配信されていましたが、当社の東濃インターネットデータセンターに構築されている「DSK映像配信サービス」からの配信に切り替わりました。

この簡単・手軽な「DSK映像配信サービス」は「暗号化ストリーミング方式」や「視聴者を限定した動画配信」が特徴となっています。現在では大変多くの在籍学生様にご利用いただいております。さらに、在籍学生様の情報と認証連携するなど放送大学様向けにカスタマイズされているため、放送大学様は管理を一元化することが可能となっています。在籍学生様にとっても、ご自分のPCやスマートフォンから安心していつでもどこでも学びたい授業をインターネットで受講でき、大変便利にお使いいただけるようになりました。



▲ 当社・東濃インターネットデータセンター

放送大学学園様からのコメント

Q 選択の決め手は何ですか？

A 電算システム様の東濃インターネットデータセンターは、標高250m、地盤が岩盤という強固な場所にあるため災害リスクが極めて低いことと、映像配信サービスで数多くの実績があり本学要件に柔軟に対応いただけたことが決め手となりました。また、Googleのトップリセラーとして文教分野での豊

富な実績もあり、今後さらなるインターネットの活用において重要な役割を担っていただけたと考えております。

Q 導入していかがでしたか？

A クラウドサービスのため、サーバ機器やネットワークの維持管理にかかる業務の削減を実現できました。また、学生からの要望に応じてカスタマイズ

していただけたため、大変使いやすいサービスになっています。導入後のサポートも良く、満足しております。

Q 今後、電算システムに期待するものは？

A インターネット配信の利用は今後一層増えていくことが予想されますので、引き続き快適な視聴環境をご提供いただけるようお願いいたします。

2020年12月期（第54期） 株主優待の内容が決定いたしました

3,000円相当の商品を進呈!

当期は岐阜県および愛知県の特産品の中から、1つをお選びいただけます。お申込カタログは2021年3月下旬に送付いたします。

- 1 明方ハムセット
- 2 鴻巣果樹園 りんごジュース
- 3 国産と世界のはちみつ3本セット
- 4 各務原市 零戦のつばさ&蔵音（お酒）
- 5 名古屋味あわせ（ぎしめん&味噌煮込みセット）
- 6 飛騨コシヒカリ（お米 5kg）



※写真はイメージであり実際の優待品とは異なる場合がありますのでご了承ください。

対象

1単元(100株)以上を1年以上継続して
保有いただいている株主さま

保有期間

2019年12月31日、2020年6月30日及び2020年12月31日の各株主名簿に、
同一株主番号で3回連続で記載または記録された株主さま

約3,000人の学生・教職員に 有料版G Suite Enterprise for Education™を導入

当社は2020年7月、麻布大学様（神奈川県相模原市、浅利昌男学長）のGoogle™「G Suite Enterprise for Education」の導入をご支援しました。学生・教職員あわせて約3,000人規模の教育現場におけるICTの活用により、全学的なコミュニケーションの活性化とオンライン授業のさらなる円滑化を実現します。

2020年3月以降、新型コロナウイルスの影響で各学校がオンライン授業の実施を余儀なくされるなか、同大学は有料版「G Suite Enterprise for Education」の導入により最大250名に対するオンライン授業が2020年9月末以降も実施可能となりました。

講義は録画して保存できるため、学生はいつでも授業を見直すことができ、より一層理解を深めることができます。

当社は、「G Suite Enterprise for Education」のライセンスの委託販売と導入ができるリセラーとして、今後もさまざまな教育現場への利活用をご提案し、また、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」の実現に向けても、Chromebookの提供をはじめ、各学校の状況に合わせた幅広いICT導入支援やトレーニングなどを行ってまいります。



会社概要及び株式情報 (2020年6月30日現在)

会社概要

商号	株式会社電算システム (Densan System Co.,Ltd.)
設立年月日	1967年3月14日
資本金	12億2,921万円
従業員	連結821名 (単体615名)
事業内容	・ 情報サービス事業 (SI・ソフト開発、情報処理サービス、商品販売) ・ 収納代行サービス事業
本社所在地	岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀綜通ビル TEL.03-3206-1771

株式の状況

発行可能株式総数 (普通株式)	29,760,000株
発行済株式の総数 (普通株式)	10,040,000株
株主数	13,492名

取締役

代表取締役会長執行役員CEO	みやち まさなお 宮地 正直
代表取締役社長執行役員COO	たなか やすのり 田中 靖哲
取締役副社長執行役員	まつうら ようじ 松浦 陽司
取締役副社長執行役員	たかはし じょうた 高橋 譲太
専務取締役執行役員	こばやし りょうじ 小林 領司
専務取締役執行役員	すぎやま まさひろ 杉山 正裕
取締役執行役員	やしま けんたろう 八島 健太郎
取締役執行役員	わたなべ ゆうすけ 渡邊 裕介
取締役執行役員	かとう きみとし 加藤 公敏
取締役執行役員	つじもと おさむ 辻本 治
取締役 監査等委員	さわふじ のりひこ 澤藤 憲彦
取締役 監査等委員	とみさか ひろし 富坂 博
取締役 監査等委員	のだ ゆうじ 野田 勇司

(注)

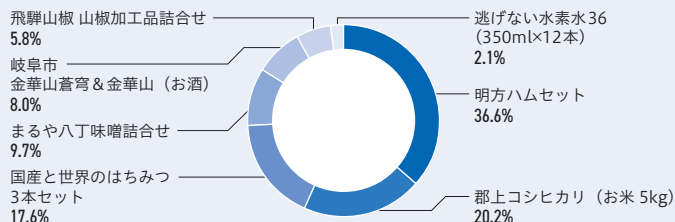
- CEO (Chief Executive Officer) 最高経営責任者
- COO (Chief Operating Officer) 最高執行責任者
- 富坂博氏、野田勇司氏は、会社法第2条15号に定める社外取締役であります。



2019年12月期 (第53期) 株主優待に関するご報告

株主優待に関する結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。2020年7月21日現在、97.8% (10,857株主) のたくさんの株主さまよりお申込いただいております。また、70%以上の株主の皆さまに「満足」とのご回答をいただきました。

■ 企画商品ごとの申込状況



※申込状況としてご案内後、約3週間で約82%の申込を受け付けております。

IRサイトのご紹介

当社では、ホームページにて即時情報開示に努めております。
個人投資家向けIRサイトも設置しておりますので、ぜひご覧ください。



IRメールマガジンに ぜひご登録ください！

当社の最新ニュースなどを
Eメールでお知らせするIR
メール配信をしております。
当社ホームページにて登録
を受け付けております。ぜひ、
ご活用ください。



電算システムIR
メールマガジン

登録はこちら



IRサイト

<https://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>



個人投資家向けサイト

<https://www.densan-s.co.jp/ir/individual/index.html>



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 https://www.densan-s.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の 口座管理機関 郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。

●住所変更のお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株式会社 電算システム

岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456
東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀綜通ビル TEL.03-3206-1771
<https://www.densan-s.co.jp/>